第32回市民まちづくり会議 議事録

平成31年2月8日(金) 日野市役所1階101会議室
午前10時00分～ 午前12時00分

議 題 : 諮問第3号:日野市まちづくりマスタープランの改訂(原案)について
諮問第4号:大規模土地取引行為の届出に係る内容に対する助言について

出席者(敬称略)	
市民委員	金井透・稲山純子・比留間文彦
有識者委員	小泉秀樹・小柳貢・和多治
欠席委員	山口達夫
事務局	都市計画課:岡田正和・津村香代子・氏家健太郎
傍聴者	1名
事務局	第32回市民まちづくり会議を開会する。
事務局	本日の進行について説明する。 欠席委員1名、半数以上の出席委員により会議の成立を報告する。
会長職務代理	出席委員の中から議席番号順で、議席番号2番の稲山委員を会議録署名委員に決定。 【議題:諮問第3号】 諮問第3号「日野市まちづくりマスタープランの改訂(原案)について」の諮問の朗読を事務局に指示する。
事務局	諮問文を朗読
会長職務代理	諮問事項の説明を事務局に指示する。
事務局	日野市まちづくりマスタープランの改訂(原案)の趣旨、経緯、改定のポイント、計画の概要、パブリックコメントの結果、今後の予定について説明。 【傍聴者途中入室】
会長職務代理	傍聴の取り扱いについて委員に確認し、許可する。 傍聴者 1名入室 【質疑応答】

比留間委員	<p>例えばこの話を、地域懇談会に出席されて説明しても良かったのではないかと。今までもそうではなかったのかと思ったのだが、どうなのか。</p>
事務局	<p>実は当初、地域懇談会の場を利用して都市マスを検討していくという事も案としてはあった。しかし、地域懇談会というのは既に都市マスの改訂よりも前から動いていて、それぞれの地区でアクションプランというプランを作っていた。</p> <p>それをどう実行していくかという実施の時期に今あるという中で、懇談会のメンバーが新たにこのマスタープランについて考える時間を取るのが難しかったという所があり断念した。</p>
比留間委員	<p>1会場に50人から70人と集まっている地元の人達を、もっと上手く使っても良かったのではないかと思う。</p>
会長職務代理	<p>所管課がこちらではなく地域協働課で、独自に進めていたプログラムがあったので、そこに急に差し込むような感じになってしまうと、少し難しいという事で調整できなかった。地域協働課も集まる場が常態化していれば、余裕をもって検討してもらえたと思うが、都市マスが内部検討しているときに地域協働課の地域懇談会が先に始まってしまった。</p> <p>これはおそらく、都市計画課と地域協働課の宿題になるのではないかと思うが、地域別の方針は良く出来ている。都市計画だけではなく、地域の方の生活に関わるような事が、比較的コンパクトにまとまっているので、こういうものをベースにして、本当は、地域のアクションというのを地域協働課の方に、地域懇談会の中で考えて頂くのがベストだと思う。</p>
比留間委員	<p>このマスタープランは大変よくまとまっている。ただ、地域協働課に投げかければ、もっとうまくまとまった感じがする。</p>
事務局	<p>これを他方に活かし、地域協働課と一緒に地域懇談会の中でも議論をしていくようにしていきたいと思う。</p>
金井委員	<p>79ページ「決定した都市計画の見直しに着手する」とあるが、今回初めて記述したのか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
金井委員	<p>とても画期的であると私は思う。例えば具体的にはどういったものか。</p>
事務局	<p>まず、都市計画道路で甲州街道である。日野駅の甲州街道については、計画幅員が15mや16mとあるが現状14m位である。バイパスがほぼ出来て、もう拡幅しなくても良いのではないかと、そのような所は現道に合わせて幅を見直す</p>

事務局	<p>など。</p> <p>あるいは、土地区画整理事業で「万願寺第三」や「新坂下」は、全部区画整理をやるという事になっているが、昭和 30 年代に決定して以降 50 年くらいが経過しても、未着手という所がある。そういう所についてはもう止めて、組合による、それぞれの地域での区画整理事業を応援していく、というようにシフトしていく事が考えられると思っている。</p>
金井委員	<p>今の話もそうだが、一般の市民がこれだけを読んでも、すごくわかりにくい所があった。そうかと思えば、先程の多摩平はものすごく具体的な政策が書き込まれている。</p> <p>わかりやすさを出す努力というか、前にも増してカタカナの言葉がすごく多くなっているように思う。もし余裕があれば、ダイジェスト版を作る時に、例えば用語集みたいなものを作ったりする事で理解が深まるのではないかと思う。</p> <p>欲を言えば「日野市都市計画マスタープラン読本」のような物が出来れば、面白いと思う。</p>
事務局	<p>用語集は今作成中である。先進市の事例等参考にして作らせて頂く。</p>
稲山委員	<p>確かに横文字がすごく多い。辞書等で調べないと読めない。だからと言って、その度にまた小冊子みたいな物を作って、手間暇かけなくても脚注で上手く説明すれば十分だと思う。</p> <p>地区区分の地図を見て驚いた。例えば豊田駅や日野駅で駅を真っ二つに分けている。市民は一体化して暮らしているのに、何でこういう分け方をするのか。確かに、中学校単位で福祉関係など動いていると言うけれど、これだと生活感との隔たりがすごくある。</p> <p>同様に多摩平地区の、市立病院と、その向かい側の土地。市民の生活感覚から全く離れた地区割りではないか。</p>
金井委員	<p>前回の時から、区域分けの事はいつも議論になり、中学校域だからという事ではない。今回の事はわからないが、日野市は基本的に過疎密があまりなく、面的にはほぼ住宅地で、あと工場地があつたりするので、結局、区切ること自体に無理がある。</p> <p>ただ、どこかに線を引かなければならない。だから、どこかに線を引くときに、例えば日野駅で分割しても「駅周辺まちづくり方針」はあり、考えやすく、特徴を出す為に、一応分けている。議論は前回もあつた。</p>
事務局	<p>基本的には中学校区で日野駅周辺でも大坂上中と一中で分かれているが、同じ項目をそれぞれ設けてあり、駅に関しては駅に焦点を当て地域ごとに位置づけたものを取りまとめた。</p>

<p>会長職務代理</p>	<p>表現の仕方として、境界の書き方だと思うのだが、中学校区に線を入れてくにしても、一点破線位にしてトーンを少し落として、中学校区を出ると色がすごく薄くなるが、中学校区の境界位は拾った方が良いかも知れない。</p> <p>要は豊田であれば、豊田の駅の周り位までは段々フェードアウトしてくような表現に、少し変えてもらった方が良いのではないかな。</p> <p>ガッチリ分けて計画を考えているわけではない。</p> <p>ただ一方で、中学校区でというのは、高齢者施策の一つの単位としても中学校区が一番大事だと言われているというもある。それから今、地域協働課の方で進めている地域懇談会も中学校区を基本的な単位にしているという事で、「都市マス」と「福祉」と「地域協働」で全部単位が違うと政策の整合性が取りにくいので、今回はこれで統一的にした。</p> <p>本当は「コミュニティ政策」というものが独立してあり「コミュニティ政策」の中で「コミュニティプラン」というものを作ると良いと思う。</p> <p>ご指摘いただいた部分も、もっともだと思うので、例えば豊田にかかるところは、豊田駅の周辺くらいは全てのマスタープランに少し入るように、エッジのところを少し広げてあげるような・・・</p>
<p>事務局</p>	<p>ぼかしを入れるような。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>日野駅周辺もそうだが、そのくらいはした方が良いのではないかな。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。わかりました。</p>
<p>金井委員</p>	<p>丘陵地に住み続けられるように住環境を残すというのは、結構大きい方針だと私は思っている。</p> <p>前はコンパクトシティとか、極端に言えば山は山に戻していく方針だったと思うのだが、簡単で良いので、その方針転換の理由を教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>コンパクトシティが実態としてはなかなか進んでこなかったという所もあるのだが、住んだ人がここを選択したのだという意見も尊重しつつ。では、ここに住み続けるのであれば、どういった公共交通なのか、施設を利用するのか、そういった事を、地域住民とそれぞれの地域に合った解決策を考えていきましょうといったことを記述させて頂いた。</p>
<p>金井委員</p>	<p>はい。わかりました。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>日野ではまだきちんと調査してないが、他の自治体の郊外住宅地の居住意向であるとか、居住者の援助の方だとか、所有権の意見調書を全部重ね合わせて調べて、どこにでもある戸建て系の住宅で65歳以上になった高齢者の方が、ほぼ9割以上の方が地区外に転出する意向がない。</p>

事務局	日野市でも同じである。
会長職務代理	つまり、どういう事かという、コンパクトシティ化へと理念的に言っても、地域の方がそう思っていないので、高齢化の問題は短期間の勝負になっているところ、その高齢者の方を郊外住宅地から他に移すというのは無理だという前提で考えざるを得ないというように、今回は整理した。
事務局	日野市でも同様のアンケートで、同様に9割の人が「移転したくない」という事を受けた。
会長職務代理	そうすると、現実的な線として「ずっと住み続けたい」という方を前提にして政策を取らざるを得ないという事なのだろう。
小柳委員	49 ページの下の方に「浸水想定地域」とあるが、その色が良くわからない。
事務局	この図では確かに少し見づらい。細く赤い線が川沿いに入っているのだが、実際の線としては、77 ページに「防災に関する項目」を挙げており、「浸水想定区域」が、0.5mから20m区域として記入されている。 今回、「中池」というのはこの0.5mのラインを、同様のものを土地利用構造図に反映させた。
小柳委員	77 ページもそうだが、104 ページの所に入れたところ。少し色を変えるなどしないとわからない。
事務局	そうですね。色が氾濫してしまっている。
小柳委員	コンパクトシティの話に関連するが、149ページの平山中学地区と173ページの日野第三中学校地区だけ、右下表の総数で言うと人口が減るとある。高齢者の方も居るということは空き家に繋がりが増えていく事が想定され、他の地区とは違ったケアや対策が求められると思う。 強制ではない緩やかな誘導というのが必要だと感じる。 また、特にこの2地区に、地域の方が出られるような「公共交通政策」をセットで考えていかなければならない。 「立地適正化計画」と一緒に、「公共交通」と「公共施設」の改変はセットで作られるのか。
事務局	「公共交通」と「公共施設」それぞれ同時に行っているが、別々になってしまう。

会長職務代理	別々ではあるが、是非、意見として「それらを整合させて策定しなさい」と言って頂きたい。
小柳委員	ここに「立地適正化計画」を作っても、「公共交通の再編計画」を作らないと中途半端だという新聞記事があった。同時に作らないといけないという話があった。
会長職務代理	<p>同時に作らなければいけないという「公共施設統合管理計画」というのがあるが、逆に、あまり安易に棄却や統合をすると、地域の生活の拠点がなくなってしまうので、相当慎重に考えないといけないという事なのである。</p> <p>指摘にあった世帯が減るとい事は空き家が相当増えるという事であるが、そうすると逆にそういう所も地域の拠点に出来るかもしれないという事となる。</p> <p>小学校とか中学校、空き校舎がたくさん出るかもしれないけれど、子供の数によるので、まだわからない。その辺の所を考えながら、どこに私的利用等の可能性があるのかみながら「公共施設統合管理計画」等も考えなければいけないと思う。</p>
和多委員	この資料は、素案を市民の方に聞いて…
事務局	<p>はい。時間があればと思っている。</p> <p>パブリックコメントを12月頭から1月の初めまで行った。</p> <p>一番多かった意見は、「日野自動車の跡地について」で、工場移転したらこういうものが欲しいとか、きちんと市民に情報開示して欲しいというものだった。</p> <p>その次が、「浸水とか崖崩れへの対策について」が多く、あと「丘陵部の移動手段の確保」というものが多かった。</p> <p>他には、若い世代が入ってこないといけないという事で、そういった部分の支援が必要だという事。「その計画の実現方策について」本当にこのように出来るのかといった所が意見としてあった。区分についても、中学校区分は行動範囲にあっていないというのが、やはりあった。</p> <p>資料の「日野自動車の跡地について」の中で、大きな所では『「大規模土地取引」というものがあり、大規模の土地の所有権の移転がある時は3カ月前までに届出を出していただき、それについて、この「市民まちづくり会議」で意見を市長に上げて、庁議をする事になっているが、それが3か月では少し遅すぎる、意見が間に合わない』というものが来ている。</p> <p>これについて、我々の見解としては大規模な敷地については、あらかじめ対話をすべき地域ということで、地図上に落としており、そういった意味では土地所有者に、そういう地域だという事を自覚して頂く必要があるので、今回は追記させて頂いている。</p> <p>それから「まちづくり条例」についても、大規模土地取引の時期については、「絶対3か月」ではなく「一応3か月」にすることで、私どもは一定の成果が出て</p>

事務局	<p>いると思うし、企業の都合を考えても、見直しについては、特にこの「市民まちづくり会議」の中で意見を頂きながら細部を検討して頂きたいというように変えさせていただきたく思う。</p> <p>他に頂いた意見として特徴的な所でいくと、おもしろいところがたくさんある。</p> <p>市町村の一番の上位の計画である「基本構想・基本計画」、いわゆる日野市で言うと「2020プラン」で目標年次は2020年であるのに、それを超えて都市計画という分野のプランが2040年までの構想を出すという事が、市として整合できてないのではないかという意見がある。</p> <p>今回の都市マスの検討の中には、2020を所管とする企画部も入った中で、現在の2020プランに即して作成をされた。そもそも「基本構想」というのは10年プランであり、地方自治法で10年後の未来と言われ、都市計画課の、この「マスタープラン」は20年と言われているので、そこで合っていない部分はあるが、きちんと中では整合をとってやっているという回答させて頂きたいと思っている。</p> <p>あとは、先程の稲山さんと同じような意見を頂いている。</p> <p>お答えとしては、行政管理計画というものが前にも中学校単位で考えられており、それと併せて動こうと。今後その「立地適正化計画」を作成する段階では、生活圏域というところに着目して、より小さな圏域ごとに生活利便機能の分布を踏まえた政策の検討や交通ネットワークの強化についても検討させて頂くというように回答させて頂ければと思っているが、先程、小泉先生の話も参考にもう少し膨らませて回答したいと思っている。</p>
和多委員	<p>前回のマスタープランを作る時と比べて、どのくらい市民の関心が減ってきたかと少し心配だったが、これだけ意見が沢山出てきているので安心した。</p> <p>今回の策定の時間的な流れみたいなものは、どこかに載せているのか。</p> <p>検討の経過みたいなものが入っても良いのかなと思う。</p>
事務局	<p>ホームページの方には出している。また、先程言った説明本のようなものを作ろうかと思っており、その中では書いていきたいと思う。</p>
会長職務代理	<p>プロセスの詳細は、どこかに入れておいた方が良い。</p> <p>パブコメを実施したことも含めて、意見が何件出てきた等も入れた方が良い。</p> <p>都市計画審議会には諮ったのか。</p>
事務局	<p>はい。わかりました。</p> <p>月曜日に都市計画審議会では一応承認頂いている。</p>
稲山委員	<p>23ページにコラム欄まで作って「歴史と記憶について」というのが、こういう公的なマスタープランに相応しくないのではないか。</p> <p>日野市の独自性、スペシャル性、いろいろ出したい気持ちはわかるが、出来</p>

<p>稲山委員</p>	<p>たら再考して頂きたいと思う。</p> <p>それともう一つ、26 ページの今後訪れる多死社会の認識というところ。「人が生を受けることは、同時に市に対面することでもある。」そういう事なのではあるが、かといって、こういう連綿とした言葉を繋げるのは、マスタープランの中で意味があるかと思う。</p> <p>179 ページに火葬場の話がでており、これに繋げるために、この言葉を出してきたのかと。火葬場にはお世話になって、ありがたいことだが、やはりもう少しコンパクトに、マスタープランだから、逆にシンプルに書く意味があると思う。</p> <p>それからもう一つ、「かつての日野人の心が息づくまち」という表現があったが、誰がかつての「日野人」の誇りとか、そんな気持ちで生活しているのか。</p> <p>そういう、あまりにも膨らましすぎというか、このような表現は、もう少しシンプルに、20年も続き残す資料なので、もう少し整理した方が良いと思う。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>確かに「歴史」と使う事も多いのだが「まちづくり」や「都市計画」では「記憶」を非常に多く使う。</p> <p>これは「集合的記憶」と言ったりするが、いろんな人が想いや、ある種の場所に価値を見出すなど、記憶を持っている事を集合化させ、都市計画として考えていくというのが、最近の都市計画の主流になっている。</p> <p>そういう意味では、それを先取りした表現だと思っており、客観的に誰もが確認できるような歴史的な事実というよりは、一人一人の人の想いや記憶に根差した都市計画をするというのが今の都市計画の流れであり、実際そのやり方も確立されつつある。</p>
<p>金井委員</p>	<p>そういう意味で言うと、僕にとっての日野市というのは、土方歳三の出身地であるという事よりも、自分が50年間育って、生活してきた土地であるという事の方が大事なので、そういう意味では計画を作る時に、歴史的という言葉进行否定するのではなく、歴史だけでまちづくりをして欲しくないの、間口を広げておいて欲しいと思う。</p> <p>何かに頼って、何かのまちというと、それに興味のない市民は置いていかれているような感じがする。そうではなく、日野市というのはいろんな切り口があるという事を強調するためにも、「記憶」という言葉を使い、多様化している社会なので、シンプルなまちづくりにはなって欲しくないという想いは、個人的には持っている。</p> <p>だから難しいと思う。いろんな表現もあるし、ある事に興味がある人、ない人というのを全て包含していこうとすると、とても難しい。計画づくりとはそういう事かと。切り捨てるわけにも排他的になるわけにもいかないという意味で、「歴史」という言葉よりも「記憶」の方が良いのかなと思う。</p>
<p>稲山委員</p>	<p>排他性というのを歴史に少し引っかけやられるから、そのようになる。</p>

金井委員	<p>歴史というと、少し大げさな言い方をすれば、教科書で学ぶ「日本史」というのは、言ってみれば「権力史」で、「文化史」とか「風俗史」のようなものは、ほとんど学校では教わらない。だから「歴史」というと、すごく言葉が狭くなるような気がする。</p>
稲山委員	<p>私の場合は逆に、個人に集約した「記憶」よりも、全体像として掴むとすれば、表題に出すのではなく中に織り込むなどしたほうが…。先生方は研究されて正解を言われていると思うが、私は先生達とは違い普通の人間ですから。</p>
会長職務代理	<p>この表現はもともとマスタープランの中にあったもの。例えば35ページの中に「歴史・文化資源」というのも、もちろん書いてある。</p> <p>これを最初に起草した人たちの思いというのは、金井委員がおっしゃったような、要はまさに通史的だとか、稲山委員がおっしゃったような、俯瞰して見るような歴史感とか歴史よりも一人一人が思っている場所への記憶の方が大事だというニュアンスが、たぶん入っていると思う。なので、まだまだ「記憶」という言葉が来たのだと思う。</p> <p>もちろん、通史的な歴史を軽視するわけではないので、そういうものについても、記述がもちろんあるのだが、それだけでなく、例えば、「農地がある風景」であるとか「湧水がある」とか「水路」。この50年、60年で日野はだいぶ変わってきたと思うのだが、でもまだ、残存で残っているような原風景的なものであるとか、一人一人が思い描いている日野らしい風景みたいなものだとか、場所だとかであり、そういったものを大切にしたいという事が、意味として込められているのかと思う。</p>
稲山委員	<p>例えば、日野の用水管理している方がいて、その方は本当に日野を愛していて、日野の用水を掃除している。身を粉にして日野の用水を守っているという、そういう熱い思いがある人達がいっぱいいるが、言葉の問題とはまた別だと思う。</p> <p>もう一つ、新しく出来たマスタープランがスリムになったと思ったが、前のマスタープランとほとんど変わらないページ数。こういうのにお金をかけないで、例えば日野を想う密度と、いろんな実際に体現している人たちに、ペットボトル一つでもあげた方が良くと思う。</p> <p>抽象的な想いなどを書き込んで、分厚いものを作って、字も前よりすごく小さい。</p> <p>だけど、日野を本当に想う人のことを考えたら、こんな分厚いマスタープランを作るよりはスリムにして、そして抽象的な想いとかよりもスッキリしたものを作るべきだと思う。抽象的なものに私は抵抗を感じる。また、生活者としては、そういう所で無駄をなくして欲しいと思うし、無駄があったら、お金を回して欲しいと思う。</p>

<p>会長職務代理</p>	<p>マスタープランが無駄になるかならないかというのは、これから行政がどう使うかという事かと思う。</p> <p>もちろん市民の方に、もう少し読みやすいもの、わかりやすい読本みたいなのがあった方がいいとは思。ただ他の自治体のものに比べて、すごく詳細で具体的な事が書いてあるのは悪い事ではない。</p> <p>市民の方とまちづくりをする時の、教科書的なものになるのだが、一番大事な機能の一つは行政の行う施策である。</p> <p>例えば、いろいろ都市計画に関連した規制法を担うであるとか、まちづくりに関連した事業を行う、場合によっては他の所管を補うとか、そういう行政を中心とした公共的な主体が行う様々な正当な事業を縛るために作っていて、ここに具体的な事が書いてあったら、やり放題になってしまう。</p> <p>都市計画の中のこの手のものは、マスタープランといい、憲法的な性格をもっているが、これ自体が何か拘束力を持っているわけではない。</p> <p>直接的な拘束力は持っておらず、これに基づいて条例を作るとか、他の計画を見直して事業を行うとか、都市計画の制限を行っていくので、公共主体が行う様々な事業とか規制がこれに基づいているのか基づいてないのかということ、市民が確認できるように、という性格のものである。</p> <p>なので、分かりやすさという意味では抽象度が持つかと。</p> <p>ページも少なくても基本的な項目しか書いていないような物の方が、わかりやすい。逆に言うと、そのマスタープランだと作る意味がない。</p> <p>市民一人一人の声がここまで入って、それを具体的に計画の図書にまとめられているかどうか。その声がまとまっていないのだとしたら、作る意味がない。それこそ金の無駄遣いである。</p>
<p>稲山委員</p>	<p>先生は、そうおっしゃるのですね。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>実際に何の役にも立ってない。行政がやりたいことをいっぱい書く為だけ作っているので使えない。</p> <p>だけど日野のはそうではなくて、いろんな市民の思いを集めて、市民のニーズもきちんと反映して、市民の声から行政としてできる事はきちんと書こうよというように作ってきたので、少しボリュームが大きくなってしまった。</p> <p>もちろん、デメリットもあると思うが、そういう意味ではわかりやすいものにするというのが必要なので、そういった工夫をする必要はあると思う。</p> <p>本当は、わかりやすさを、どうやって追及するのかということのも大事になる。</p>
<p>稲山委員</p>	<p>本当はそうですね。説明に答えてくれてありがとうございました。</p>
<p>会長職務代理</p>	<p>とても大事な視点だと思うので、「記憶」については色々な議論がわかれているかと思うが、わかりやすさについては検討して頂いた方が良いと思う。</p> <p>少しわかりやすい、読本なのか差し替えなのか、地域別のところくらい、別冊</p>

会長職務代理	子で、市民の方が自分の家の所はどうなっているのだろうかと確認できるようにした方が良いかもしれない。そういう工夫も考えていって欲しい。
事務局	はい。
会長職務代理	<p>頂いた意見は、一応全て議事録には残し、少し審議会からの意見という事で、事務局の方で改めて検討して頂く、という事を条件付けて、一応、諮問については、このマスタープランの原案をベースにしなが、最新案を作って頂くという事でよろしいか。</p> <p>稲山委員には、いろいろご批判あって、このままではまずいというような意見もあるだろうし。</p>
事務局	答えきれてなくてごめんなさい。
稲山委員	私、素人でわからないのだが、何か少し考えさせていただけませんか。ごめんなさい。新しい部分で説明されたところは良くわかったが、ある意味で、前を踏襲しすぎていることを意識されたらいいのではないかと思う。
	【以上で諮問第3号に関する質疑応答を終了】
会長職務代理	<p>【議題: 諮問第4号】</p> <p>諮問第4号「大規模土地取引行為の届出に係る内容に対する助言について」の諮問の朗読を事務局に指示する。</p>
事務局	諮問文を朗読
会長職務代理	大規模土地取引行為届出内容について事務局より説明を求める。
事務局	<p>大規模土地取引行為届出内容について 諮問第4号</p> <p>日野市旭が丘三丁目1番21、1番31 面積 5,632.24 m²</p> <p>届出者: 東京都八王子市明神町三丁目20番6号</p> <p style="padding-left: 40px;">株式会社 AQUA RESORT</p> <p style="padding-left: 40px;">代表取締役 佐藤 裕樹 様</p> <p>譲受人: 東京都国立市谷保6丁目2番地の1</p> <p style="padding-left: 40px;">東京多摩青果株式会社</p> <p style="padding-left: 40px;">代表取締役 富田 雄一 様</p> <p>以上、届出地の周辺状況、概要について説明。前回の助言案に変更を加えたもので良いか諮問する。</p>

	【質疑応答】
金井委員	要は前回の、今回もこのまま用途の変更はないというのを前提としたものであるか。
事務局	変わることも想定した中で、それでも工業系の土地利用を存続してくださいという助言である。
金井委員	例えば今回買われる方が、土地取引をせずに用途変更をしようとした場合は手続き上どうなるのか。要するに、まちづくり会議にかけないということはあるのか。
事務局	条例違反にはなるのだが、特に罰則等はなく行政指導になる。過去にも事例があり、指導書なりを送って、次回このような事がないようにしてくださいと言うしかなかった。取引自体が成立しないという事などはない。
金井委員	買って、例えば1年か2年後に、自分が持ったままマンション開発するとかという事はありうるのか。
事務局	それについてはありうるが、一応まちづくり条例の開発行為の手続きの中で、やはりそこはきちんと助言を踏まえてくださいという指導、やりとりはさせて頂く。
金井委員	可能性の話で、今回の場合は、その可能性は低いだろうという事か。
事務局	そのとおりである。
	【以上で諮問第4号に関する質疑応答を終了】
	以上を持って、市民まちづくり会議を閉会する。

この議事録は、書記が作成したものであるが、その内容が正確であることを認め、ここに署名します。

平成 年(年) 月 日

会 長.....(印)

署名委員.....(印)